

外国政府及び国際機関との連携について

1 これまでの取組

(1) 米国食品医薬品庁（FDA）との連携

平成15年8月4日、訪米中の谷垣食品安全担当大臣（当時）が米国食品医薬品庁（FDA）のマクレラン長官と会談。

会談の中で、

食品安全委員会について、発足の経緯及びその概要等を説明。

日米両国の食品安全行政、関係機関の情報交換及び協力体制等について意見交換。

日米両国の関係機関による情報交換及び協力体制等の構築を提案し、合意。

(2) 米国農務省（動植物検査局（APHIS）、食品安全検査局（FSIS））、食品医薬品庁（FDA）、疾病管理予防センター（CDC）との連携

平成15年9月2日から10日までの日程で、寺田食品安全委員会委員長が訪米し、上記各機関の局長等と会談。

会談の中で、

食品安全委員会について、発足の経緯及びその概要等について説明。

日米両国の食品安全行政、関係機関の情報交換及び協力体制等について意見交換。

日米両国の関係機関による情報交換及び協力体制等の構築のためのコンタクトパーソンを相互に登録。

2 今後の取組予定

今後、フランス、オランダ、オーストラリア、ニュージーランド、英国及びドイツ等における政府機関及び国際機関等との間で、食品安全行政に係る意見交換、情報交換及び協力体制の構築（コンタクトパーソンの登録等）を行う予定。